

峡南会場

びゅあ峡南では、独自プログラムとして講師にリズムオブラブ主宰の渡辺光美さんをお招きし「新しい防災・防犯の考え方について楽しく学ぼう『フェーズフリー』～かけがえのない大切な命を自分で守る心と体づくり～」を開催しました。

近年、各地で自然災害が頻発しています。峡南地域も例外ではなく、東海地震をはじめ富士山噴火などによる災害発生危険性が指摘されており、これらが発生した場合には広範囲にわたって甚大な被害を受けることが懸念されています。

今回はそうした災害に備えるためには日頃からどうすべきなのか、「フェーズフリー」の視点から丁寧にご説明いただきました。フェーズフリーとは、日常と災害時の垣根をなくす新しい防災の概念で「備えない防災」とも



言われ、今多くの分野でその考え方が取り入れられています。今回はその中でも防災と防犯に焦点を当てながら、万が一の時にどのような備えが必要なのか、日常生活の中

でどのような意識を持つべきかについて学びました。私たちが普段使っている身近なものかどのように活用できるのか紹介いただく場面では、その意外な利用方法に受講者から歓声が挙がるなど、驚きを隠せない様子も見受けられました。実際にテントやガスコンロなどのフェーズフリーグッズの展示もあり、一つ一つの活用方法について、事例を交えながら紹介いただきました。



1つのもので複数の機能を備えていることは、効率的な防災対策を実現する上で重要な要素となります。フェーズフリーという言葉を始め知ったという方もいたため、今回の内容が新鮮に感じられた方も多かったのではないかと思います。特別なものを揃えるのではなく、“いつも”の日用品を“もしも”の時のために活用すること、それがいざというときの備えに繋がります。

今回の講座をきっかけに視野を広げ、今自分が使っている日用品が非常時にも使えるかどうか改めて考えてみてはいかがでしょうか。



富士会場

びゅあ富士会場では、午前の部として、オープニングセレモニーと映像ジャーナリスト伊藤詩織さんによる記念講演会をびゅあ総合からのオンラインにより参加・聴講しました。記念講演会に引き続き、びゅあ富士の独自プログラムとして、記念講演会の内容を踏まえた意見交換会を実施しました。短い時間でしたが5人の方からご意見をいただき、「講演の内容は遠い世界でのことと思うが、改めて地域での男女共同参画について考えさせられました」など、それぞれの立場からの思いを熱く語っていただきました。

午後の部は、びゅあ富士会場に男女共同参画落語創作・口演家の千金亭値千金(せんきんてい あたいせんきん)さんをお招きし「今さら聞けない男女共同参画—何のため?どんな社会に?どうやって?—」と題した講演会を開催しました。冒頭、落語の演芸場で流れるお囃子の中、即席で作った高座に値千金さんが登場。樺坂46



のヒット曲「不協和音」の替え歌「男女共同参画のための不協和音」を披露。次に創作落語。演目は「進路相談」。

男子校・女子校問題について、笑いを交えながら皮肉を込めて疑問を投げかけました。創作落語に続く雑談タイムでは、グループに分かれて



「男子しか入れない、女子しか入れない学校があってもいいの?」を題材に意見交換を行い、各グループからは賛否両論、幅広いご意見が出されました。最後に、ミニ講座に続き再度のミニライブ。北島三郎のヒット曲「まつり」を、男女の在り様やその悲哀を替え歌にした「まつりごと」を熱唱し、会場を大いに沸かせました。こうした工夫した多彩なプログラムにより楽しく学ぶことができました。また、同会場にて都留茶道会さんによる、気軽にお茶とお菓子を楽しめる呈茶会の開催や、管内市町村の男女共同参画推進委員会・団体による活動発表展示の場を設けました。

びゅあ富士会場は1日だけの開催でありましたが、今年度のフェスティバルをとおして、参加された皆様方が交流を深めながら、楽しく、有意義に1日を過ごすことができました。実行委員会の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。